

複合化技術による新規素材創生のための
高効率プロセス構築に関する調査研究委員会
2008 年度調査報告書

平成 21 年 3 月 13 日

社団法人 新化学発展協会

ま え が き

(社)新化学発展協会では化学フロンティア事業の一環として、新素材産業を中心としたさまざまな分野における技術課題の発掘と、産業界の発展に貢献するための提言を行うことを目的とした調査活動を継続的かつ精力的に行っています。

本報告書は先端化学技術部会・高選択性反応分科会内に設置された「複合化技術による新規素材創生のための高効率プロセス構築に関する調査研究委員会」(委員長：佐藤智司)において、平成20年4月から平成21年3月まで行われた、「次世代高効率工業プロセス実現のための複合化技術」をターゲットとした調査委員会活動の結果です。

本調査を行うにあたり、本調査委員会メンバーの所属会社をはじめ、協会会員会社の皆様には多大なご尽力、ご協力をいただきました。ここに感謝いたします。

平成21年3月

(社)新化学発展協会

複合化技術による新規素材創生のための
高効率プロセス構築に関する調査研究委員会

目 次

はじめに

第1章 非シリカ系メソポーラス材料

第2章 炭酸ガスを原料としたプラスチック合成

第3章 特殊反応場としてのマイクロリアクタ

化学工業日報紙触媒関連記事ダイジェスト

講演会記録

研究機関訪問記録

調査委員会名簿